

2004年7月22日 名古屋組定例会 議事録

場所：なごやボランティア・NPOセンター

日時：2004年7月22日 19:00~21:30

参加：加部、近藤、白井、宮田(記録)

<議題>

●名古屋組総括

3つのカテゴリー（趣味、協力、事業）→ CSCのHPに追記
水野氏図「Social Innovation」名古屋組パンフレットにしよう

●白井氏 CSC、HPの中に[Social Innovation]を基にした名古屋組の活動を紹介すべく準備中。原案の発表が行われた。8月に入ってからアップする。

●安全に関する基本法の議員立法準備中（加部）

- ・ <俯瞰的アプローチ>あるべき姿⇒各立場の役割
- ・ 基本法押さえる⇒個別法全部変わる

●税の EASY GUIDE（近藤）

- ・ 予算書の解体⇒市民側から評価⇒評価シート（資料参照）
- ・ ナレッジを共有し、分かりやすく提供
- ・ 1枚の図作成⇒次への展開⇒簡単な事例
- ・ 専門家巻き込む⇒加部より専門家への打診後に、特許の可能性検討する

●猿まね

- ・ 誰に何のテーマを書いてもらうか⇒リストアップ+出版企画書作成
- ・ 発行者、出版社、分類、部数、単価を決める必要有り
- ・ 「日本の論点」、一新塾講師参照 > 8/10目処に宮田作

●生活者主権+関連情報

- ・ 市民に降り始めている⇒ローベンス報告
- ・ 一概に規制緩和といってもニュージーランドの場合⇒資本と市場を強化…大企業にとってはメリット、しかし、市民に対しては酷…『内橋克人』
- ・ 消費者運動も少なくなっている
- ・ {JIS} 政府責任⇒生産者責任、政府認証⇒第三者機関認証
- ・ 社会学教える人いない 『富永健一郎』
- ・ 日本エンジェルフォーラム（東京・大阪）
- ・ 次回（？）カリキュラム案持ち込み > 白井
- ・ 市民、消費者から見た動き⇒ソーシャルイノベーション⇒水野図
⇒それに基づいた大学カリキュラム c.f.)税の EASY GUIDE

●次回から

- ・ 今後定期的に集まることせず、[Social Innovation]基に個別に動いていく事も考えられるのでは？次回日程は未決。

●9月名古屋組説明会

- ・ 5月のようなプレゼンはやらない。従来どおり一新塾事務局主催のものにつき、参加できる人は参加する。